

故江草氏 名誉県民に選定

岡山県は2日、社会福祉法人旭川荘（岡山市北区祇園）の名誉理事長で今年3月に88歳で亡くなった江草安彦氏を名誉県民に選定した。9月定例会県議会に同意議案を追加提案し、全会一致で可決された。



江草安彦氏

同県の名誉県民は7人目となる。

提案理由について伊原木隆太知事は「江草氏は医療と福祉の一体化を推進し、県の社会福祉の向上に多大な貢献をされた」と説明した。県は名

岡山県 社会福祉向上 多大な貢献

名誉県民の称号とともに、顕彰状と記章、記念品を贈る方針で、日程を調整している。

江草氏は笠岡市出身。岡山大学医学部小児科の助手を経て、1956年の旭川荘創設に参画、85年に理事長となった。91年には川崎医療福祉大を開設し、初代学長を務めた。80年に山陽新聞賞、95年に三木記念賞を受賞、2006年に瑞宝重光章を受けている。

名誉県民は社会福祉の向上や経済の発展、学術文化の振興に卓越した功績があり、県民から郷土の誇りとして敬愛される人が対象とされている。（小橋充）